

ワキの発生に要注意！細やかな水管理で初期生育を確保！

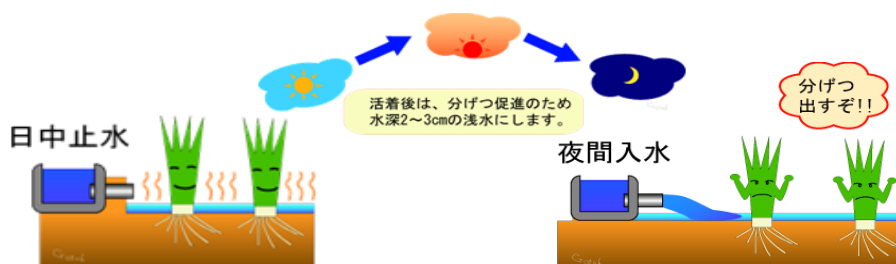
気温は、5月下旬から平年より高く経過しており、今後1週間も平年より高く経過する予報です（気象庁、2週間気温予報、5/29発表）。

すでに一部の圃場では、ワキや表層剥離の発生が確認されています。

天気に応じたきめ細やかな水管理で、ワキや表層剥離を抑え、初期生育を確保しましょう。

天気やイネの生育状況にあわせた水管理

- 苗の活着後は、2～3cmの浅水管理とし、**日中止水・夜間かんがい**で地水温にメリハリをつけ、分けつの発生を促します。
- 強い風が続く場合は、一時的に深水とし、イネを保護しましょう。



土壌の異常還元（ワキ）や表層剥離は早めに対策

- 土壌の異常還元（ワキ）の発生は、イネの根を痛め、生育を停滞させます。また、表層剥離の発生は、地温の上昇と酸素の供給を妨げます。
- 晴天・高温が続く場合は、2～3日おきに水の入れ替えを行い、ワキや表層剥離の発生を抑制します。
- ワキの兆候（水田に足を踏み込んだ時にわずかな気泡がみられる）がみられた場合は、速やかに水の入れ替えや夜間落水を行いましょう。

除草剤は遅れずに散布

- 高温が続くと雑草の発生、生育が早まります。除草剤の使用基準をよく確認し、適切な使用時期の範囲内でも、早めの散布を心掛けましょう。
- 除草剤の散布後7日間は止め水とします**。除草剤の散布前には必ず水交換を行いましょう。

補植用取置き苗の速やかな除去

- 補植用の取置き苗は残っていませんか。いもち病の伝染源となるとともに、時間が経過すると田んぼに根を張り除去しづらくなります。
- 補植作業は田植え後1週間以内に行い、**取置き苗は速やかに処分**しましょう。

雪若丸の安定生産には初期の茎数確保が必須！

葉色の低下がみられる、分けつが少ない場合は、早めに農業技術普及課にご相談下さい。

春季農作業事故防止啓発運動 展開中！

トラクターの事故に要注意！

熱中症にも要注意。こまめな休憩と水分補給。ゆとりをもった作業を心掛けましょう。

山形県農薬危害防止運動 実施中！

農薬を使用した際はしっかり記帳！

農薬を使用する際には、使用基準を再確認し正しく使いましょう。